



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	51,128	1.5	783	△29.7	874	△19.8	418	11.1
25年3月期第1四半期	50,368	2.0	1,114	△35.7	1,091	△36.5	376	△71.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 903百万円 (985.4%) 25年3月期第1四半期 83百万円 (△93.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.22	—
25年3月期第1四半期	2.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	127,178	69,957	53.8	526.41
25年3月期	122,848	70,112	55.8	527.71

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 68,383百万円 25年3月期 68,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	108,000	4.8	2,100	13.3	2,200	17.9	950	3.5	7.31
通期	220,000	6.3	4,000	20.7	4,200	16.4	2,250	10.8	17.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	132,527,909 株	25年3月期	132,527,909 株
26年3月期1Q	2,623,831 株	25年3月期	2,623,779 株
26年3月期1Q	129,904,083 株	25年3月期1Q	129,906,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感や日銀の金融緩和により景況感に緩やかな回復の兆しが見られる一方で、株価や為替の変動が激しい不安定な状況であり、海外では中国経済の鈍化が懸念されるなど、消費全般の基調は引き続き楽観視できない不透明な環境が続いております。

加工食品事業につきましては、原材料コストの上昇やお客様の低価格志向、競合他社との競争激化などから依然として厳しい状況が続いております。また、食肉事業につきましては、国産牛肉・国産豚肉の相場は堅調な傾向となりました。2月に輸入月齢が緩和された米国産牛肉においては輸入数量が伸長しましたが、米国内の牛肉の供給量が減少したことや為替変動等による仕入価格の上昇などの影響を受け依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.5%増の511億28百万円、営業利益は同29.7%減の7億83百万円、経常利益は同19.8%減の8億74百万円、四半期純利益は同11.1%増の4億18百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	36,340	35,389	△ 951 (△2.6%)	1,053	803	△ 249 (△23.7%)
食肉事業	13,935	15,652	1,716 (12.3%)	6	△ 69	△ 76 (-)
その他	92	87	△ 4 (△5.1%)	54	49	△ 4 (△7.8%)
合計	50,368	51,128	760 (1.5%)	1,114	783	△ 330 (△29.7%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	20,584	20,511	△ 72 (△0.4%)
調理・加工食品	15,756	14,877	△ 878 (△5.6%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、2013年モンドセレクション食品部門において5度目の最高金賞を受賞した主力ブランド「燻製屋熟成あらびきウインナー」の売上拡大を図り、「世界が認めた日本のウインナー」をキーワードとした販売促進に注力しました。また、主力商品を中心に「ガチャピン&ムックおすすめキッチングッズプレゼントキャンペーン」や、ロングセラー商品の「チキンハンバーグ」シリーズを対象とした「丸大チキンハンバーグ35周年記念プレゼントキャンペーン」などの販売促進キャンペーンを積極的に展開するなど拡販に努めましたが、競合他社との販売競争の激化の影響などにより、当部門の売上高は前年同期比0.4%の減収となりました。

調理・加工食品部門は、豆腐でつくる辛くて美味しい韓国家庭料理チゲの素「スンドゥブ」シリーズや「チキンドリアソース」「ミラノ風ドリアソース」「焼きカレードリアソース」の「ドリアソース」シリーズなどの売上が堅調に推移したほか、4つの味と食感のコントラストが楽しめるフルーツデザート「フルーツジュレ」シリーズなどの新商品の投入を積極的に努めましたが、コンビニエンスストア向けの商品が低調に推移しましたことなどから、当部門の売上高は前年同期比5.6%の減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比2.6%減の353億89百万円となりました。また、ハム・ソーセージ市場の成熟化による販売価格の下落や為替変動等による原材料コストの高騰などから、営業利益は前年同期比23.7%減の8億3百万円となりました。

② 食肉事業

お客様の低価格志向が継続し、依然として厳しい価格競争の環境下にあります。牛肉につきましては、米国産牛肉を中心に回復基調である国産牛肉の販売拡大にも積極的に取り組みました。豚肉につきましても、輸入豚肉を中心とした売上拡大に努めた結果、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比12.3%増の156億52百万円となりましたが、仕入価格の上昇並びに価格競争の激化などから、69百万円の営業損失となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比5.1%減の87百万円、営業利益は前年同期比7.8%減の49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
総資産	122,848	127,178	4,330
負債	52,736	57,221	4,485
純資産	70,112	69,957	△154
自己資本比率	55.8%	53.8%	△2.0%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が22億74百万円増加したほか、商品及び製品が13億89百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ43億30百万円増加し、1,271億78百万円となりました。

負債は、有利子負債が19億62百万円増加したほか、支払手形及び買掛金が9億13百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ44億85百万円増加し、572億21百万円となりました。

純資産は、四半期純利益4億18百万円の計上がありました。10億39百万円の剰余金配当などから、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少し、699億57百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.0%減少し、53.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	970	△38	△1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	△978	634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,912	912	2,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,739	10,721	981

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などによる増加要因がありましたが、売上債権やたな卸資産の増加などにより、38百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、9億78百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどによる減少要因がありましたが、有利子負債の増加などから、9億12百万円増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から1億6百万円減少し、107億21百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,064	10,858
受取手形及び売掛金	24,994	27,269
商品及び製品	7,044	8,433
仕掛品	743	809
原材料及び貯蔵品	6,657	6,783
繰延税金資産	1,146	1,486
その他	1,105	1,406
貸倒引当金	△60	△65
流動資産合計	52,695	56,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,133	47,212
減価償却累計額	△31,819	△32,077
建物及び構築物(純額)	15,313	15,135
機械装置及び運搬具	48,307	48,762
減価償却累計額	△36,994	△37,503
機械装置及び運搬具(純額)	11,313	11,259
工具、器具及び備品	4,833	4,862
減価償却累計額	△3,394	△3,411
工具、器具及び備品(純額)	1,438	1,451
土地	18,834	18,777
リース資産	6,668	6,274
減価償却累計額	△3,423	△3,155
リース資産(純額)	3,244	3,118
建設仮勘定	317	329
有形固定資産合計	50,462	50,072
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	10,733	11,391
関係会社株式	100	93
長期貸付金	190	185
繰延税金資産	69	70
その他	7,379	7,261
貸倒引当金	△408	△411
投資その他の資産合計	18,064	18,591
固定資産合計	70,152	70,195
資産合計	122,848	127,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,907	20,821
短期借入金	7,861	10,241
1年内返済予定の長期借入金	2,499	2,435
リース債務	804	785
未払金	6,111	6,182
未払法人税等	303	576
未払消費税等	226	365
賞与引当金	1,081	1,831
その他	1,806	1,953
流動負債合計	40,602	45,192
固定負債		
長期借入金	6,519	6,289
リース債務	2,555	2,449
繰延税金負債	1,685	1,902
退職給付引当金	852	871
その他	520	514
固定負債合計	12,133	12,028
負債合計	52,736	57,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	38,031	37,411
自己株式	△698	△698
株主資本合計	65,735	65,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,940	3,377
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△124	△112
その他の包括利益累計額合計	2,816	3,267
少数株主持分	1,560	1,573
純資産合計	70,112	69,957
負債純資産合計	122,848	127,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	50,368	51,128
売上原価	37,826	39,188
売上総利益	12,542	11,940
販売費及び一般管理費	11,428	11,156
営業利益	1,114	783
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	6	12
不動産賃貸料	43	46
その他	144	158
営業外収益合計	202	222
営業外費用		
支払利息	89	69
その他	136	61
営業外費用合計	225	131
経常利益	1,091	874
特別利益		
固定資産処分益	1	1
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産処分損	36	25
減損損失	—	90
製品自主回収関連費用	213	—
投資有価証券評価損	10	—
特別損失合計	260	116
税金等調整前四半期純利益	832	760
法人税、住民税及び事業税	292	646
法人税等調整額	92	△337
法人税等合計	384	308
少数株主損益調整前四半期純利益	448	451
少数株主利益	71	32
四半期純利益	376	418

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	448	451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△381	437
繰延ヘッジ損益	△16	2
為替換算調整勘定	22	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	10	13
その他の包括利益合計	△364	451
四半期包括利益	83	903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18	870
少数株主に係る四半期包括利益	101	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	832	760
減価償却費	1,375	1,331
減損損失	—	90
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8	109
受取利息及び受取配当金	△13	△18
支払利息	89	69
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
投資有価証券評価損益(△は益)	10	—
固定資産処分損益(△は益)	35	23
売上債権の増減額(△は増加)	△1,681	△2,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△505	△1,591
仕入債務の増減額(△は減少)	416	914
未払消費税等の増減額(△は減少)	23	139
その他	596	564
小計	1,192	103
利息及び配当金の受取額	160	144
利息の支払額	△66	△57
法人税等の支払額	△315	△229
営業活動によるキャッシュ・フロー	970	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△16	△8
投資有価証券の売却による収入	13	—
固定資産の取得による支出	△1,517	△1,059
固定資産の売却による収入	4	107
その他	△97	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	△978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350	2,360
長期借入れによる収入	224	48
長期借入金の返済による支出	△310	△341
リース債務の返済による支出	△287	△217
配当金の支払額	△1,169	△917
その他	△19	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,912	912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,555	△106
現金及び現金同等物の期首残高	12,295	10,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,739	10,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,340	13,935	50,276	92	50,368	—	50,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	392	392	△392	—
計	36,340	13,935	50,276	484	50,760	△392	50,368
セグメント利益	1,053	6	1,060	54	1,114	—	1,114

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,389	15,652	51,041	87	51,128	—	51,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	277	277	△277	—
計	35,389	15,652	51,041	365	51,406	△277	51,128
セグメント利益又は 損失(△)	803	△69	733	49	783	—	783

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては90百万円であります。